

出生前スクリーニング検査のご紹介

妊娠中におけるあなたの選択

妊娠中、あなたはさまざまなスクリーニング検査を受けられます。このリーフレットには、出生前のスクリーニングと検査に関する重要な情報を記載しています。リーフレットの情報は、これらの検査を一部またはすべて受けるか、受けないかを選択する際にお役に立つでしょう。担当の助産婦や医師と、これらの検査について話し合う機会があります。

NHS はすべての検査結果を秘密扱いで保管保管します。病院の方針は、何人があなたの検査結果を見る権利を持つかにより異なります。担当の助産婦があなたに該当する現地の対応についてあなたに説明します。

あなたの NHS 番号はあなた専用であり、この番号を使って NHS のコンピュータシステムにあるあなたの情報を特定します。あなたが NHS 番号を持っている場合、妊娠中のケアのためにあなたが初めて助産婦に会う、または病院に行く時にこの番号を用意しておいてください。

スクリーニング検査とは

スクリーニング検査とは、あなたまたはあなたの赤ちゃんに影響を与える可能性がある状態の一部を検出するためのものです。検査によって、あなたまたはあなたの赤ちゃんに影響が出ているかどうか、はっきりとは分かりません。しかし、あなたまたはあなたの赤ちゃんに影響が出る確立がどの程度か分かります。

スクリーニング検査の結果で特定の問題がある確立が高いことが分かった場合、診断検査を受けられます。診断検査ではより確かな結果が得られますが、場合によっては流産するリスクがあります。このため、診断検査は、問題がある確立が高い女性に対してのみ勧められます。

あらゆる医学検査に言えることですが、スクリーニングと診断検査の結果は、100%正確であるわけではありません。

どんな検査を受診できるのですか？

次のスクリーニング検査が勧められます。

通常 11～13 週目に行われる検査

次の症状を確認するための超音波スキャン：

- どの妊娠周期にあるか
- 胎児の心臓が脈動しているかどうか、および
- 多胎児であるかどうか

通常 13 週目前の妊娠初期に行われる検査

以下を検出するために血液検査を勧められます：

- 赤ちゃんに有害な感染症として、HIV、B 型肝炎、および梅毒があります。
- 血液型と Rh 型、および血中の抗体の有無
- 遺伝する特定の血液疾患。鎌状細胞症およびサラセミア、および
- 風疹 (三日麻疹) の予防接種を受けているかどうか

これらの検査はすべて、同時に行われます。どの検査を受けるか選択できます。担当の助産婦が検査を受けることができる場所をお知らせします。

15 ~ 18 週目

ダウン症に関する検査

ダウン症の赤ちゃんが産まれる確立を検出するために、血液検査を受けることができます。この検査は妊娠 15 週目から受けられます。

18 ~ 20 週目

赤ちゃんの発育に問題がないかどうかを確認するために超音波検査を受けることができます。

これらの検査を受けるかどうか決断する

どの検査を受けるべきかを決めるのは、難しいことです。赤ちゃんに影響が出かねない感染症に罹患していることを知りたくない、または発育に問題があるかどうかを知りたくない女性もいます。また、結果を知って感染症から赤ちゃんを守りたい、または赤ちゃんに重大な問題がないかどうかを確認したいという女性もいます。このような女性は、自分が妊娠を止めたいかどうかを考えることができます。

十分時間をかけて決断してください。担当の助産婦や医師と検査について話し合ったり、質問することもできます。それぞれの検査について詳しい情報を記した資料もこのパッケージの中にあります。

どの検査を受けるかを決めたら、助産婦が手配をします。助産婦は結果を受け取る方法についても説明します。すべてのスクリーニング検査の結果は、秘密扱いです。

考えが変わった場合

自分の選択について考えを変えることができます。

検査を受けることを決めて、その後実際に検査を受ける前に考えを変えた場合、必ず助産婦に連絡してください。助産婦は母子手帳にその旨記載します。

出生前のスクリーニングを選択した場合

このフォームを使って、受けたいと思う検査を記録してください（出生前スクリーニングの選択）。

Information for Women

© Public Health Wales

検査	受ける この検査を受けることに興味がある	受けない この検査を受けることに興味はない	わからない もっと詳しい情報が欲しい
妊娠初期の超音波スキャン			
HIV のスクリーニング			
B 型肝炎のスクリーニング			
梅毒のスクリーニング			
風疹のスクリーニング			
血液型と抗体のスクリーニング			
鎌状細胞症とサラセミアのスクリーニング			
ダウン症のスクリーニング			
胎児奇形超音波スキャン			

次の点にご注意ください

- どの検査を受けるか選択してください。
- あなたが同意しない限りどの検査も行われません。
- 検査のために来院されなくても、来院を促す通知は送付されません。

その他の情報

あなたのフォルダの中には次の内容に関するリーフレットが入っています。

- 感染症と妊娠
- あなたの血液グループと妊娠
- 妊娠中の超音波スキャン
- 妊娠中のダウン症のスクリーニング、および
- 妊娠中の鎌状細胞症とサラセミアのスクリーニング

この他、スクリーニング検査に関する詳細な情報を、担当の助産婦または医師（産科医）、および Antenatal Screening Wales ウェブサイト www.antenatalscreening.org から取得できます。

CARIS は、Welsh Congenital Anomaly Register および Information Service の略語です。

CARIS は妊娠中の胎児の発育上の問題に関する情報を収集します。これらの問題は、「先天性奇形」、「先天性異常」、または「出生異常」と呼ばれます。これらの異常には、ダウン症、心疾患、または口唇裂などの問題が含まれます。

これらの問題の種類とそれぞれの原因に関して詳細に確認することは非常に重要です。

CARIS ではその情報を利用してこれらの問題がどの程度一般的かを割り出します。CARIS が収集する情報は、優れた医療サービスがどのようにこれらの問題を回復させるのか確認するのに役立ちます。

スクリーニング検査を受けて、妊娠でこのような問題があると疑われる場合、助産婦または医師はこの問題に関する情報を CARIS に提出します。

CARIS レジスタに保管されるこの情報は、厳重に保管されます。私たちはあなたの氏名を誰にも知らせず、公開もしません。

担当の助産婦または医師があなたまたはあなたの赤ちゃんに関する情報を CARIS に提出することを希望しない場合、その旨助産婦にお伝えください。助産婦はあなたの記録にその旨記載し、あなたの情報を使用して欲しくないことを CARIS に伝えます。

© Copyright 2010 Public Health Wales NHS Trust. All rights reserved. 著作権の所有者の許可なく本書の一部または全体を複製することを厳禁します。

www.antenatalscreening.org

2010年4月

CP 第9版